

赤平市しごと・ひと・まち創生総合戦略【概要版】

〔2015年(平成27年)～2019年(平成31年)の5か年〕

基本目標 1 地元産業の強みを活かした雇用確保と地域産業の振興

赤平市には、優れた技術・技能を持つ優良企業がありますが、近年、人口減少や少子化の影響も受けて、地元企業における求人・求職があるにもかかわらず、就労者の確保が大きな課題とされています。このため、赤平市には「しごと」があるという強みを最大限に活かし、官民一体となって地元企業のPRや人材確保に努めることで、安定的な企業体制づくりや、移住・定住を促進していきます。農業分野においては、評価の高い良質な米などを生産し道外でも販売しており、赤平市の農産物のさらなる拡大を図るために、地元加工業者との連携や生産から加工・販売までの6次産業化につなげる必要があります。こうした地場産業の強化と雇用創出・確保を持続的に行うには「ひと」の安定的な確保が重要であり、将来のために市内の子ども達が企業を知る機会や学卒者の定着や転入に結びつための事業並びに就労体験や技術・技能を習得できる場を創出します。

＜具体的な施策＞(◎重点施策)

①地元製造業の強みを活かす

- ◎優良企業PR ◎求人、求職窓口の設置 ◎求人、求職の市町連携PR
- ◎技術、技能講習等 ◎起業者への助成 ◎市内企業等就職者への助成
- ◎奨学資金貸付金返還金免除 ◎高校生、大学生の企業へのインターンシップ
- ◎学生地域定着推進 ◎キャリア教育 ◎技術、技能の伝承

②農業の6次産業化を創出する

- ◎食品加工センターの整備 ◎6次産業化 ◎農業生産法人
- ◎新製品開発研究



基本目標 2 若者が安心して子どもを産み育てられる地域づくり

赤平市を、持続可能な地域社会として確立するには、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない施策を展開し、子どもを産み育てやすい環境づくりを行い、若者に住み続けていただく、あるいは移り住んでいただき、将来のまちを築き上げていくことが重要です。このため、子育て世代や若者の住宅環境整備を推進するほか、ひとり親世帯の支援をはじめ、子育て世帯が出産から子育てまで安心して暮らせるための経済的支援や、まち全体での応援体制を整備します。また、子どもたちの学力向上を図るため、学校における授業内容の創意工夫をはじめ、地域や大学、塾等と連携し、基礎教育力の向上を目指します。また、全国平均を上回る少子化の進行によって、乳幼児・児童・生徒数は大幅に減少しており、児童福祉施設並びに学校施設等の見直しを行う中で、施設の充実を図ります。

＜具体的な施策＞(◎重点施策)

①若者が住みやすい環境づくり

- ◎子育て支援住宅の充実 ◎持ち家住宅建設、土地購入、中古住宅購入助成
- ◎移住者向けワンストップ窓口の設置 ◎女性就労者に対する優良企業表彰
- ◎公的住宅の入居所得制限改正 ◎民間賃貸住宅建設、リフォーム、家賃助成の継続

②まち全体で子育てを応援する

- ◎子育て支援条例等の制定 ◎中学生以下の医療費無料化の拡充
- ◎ひとり親世帯への助成 ◎高校通学費助成 ◎子育て支援施策PR
- ◎保育料の軽減拡充 ◎子育て総合相談、支援体制の確立

③学力向上と施設環境の充実

- ◎子ども塾の開設 ◎ICT活用教育 ◎小、中学校施設の充実
- ◎児童福祉施設の充実 ◎屋内遊戯施設の整備



基本目標 3 高齢者が生きがいを持って安心して生活できるプラチナ社会の形成

全国的にも、高齢者の増加が見込まれ、都市部では地方への移住を希望する方も多数います。赤平市は、全国平均を上回る速さで高齢化が進んでいることから、このまちで生きがいを持ち安心して暮らせるプラチナ社会を実現することで、全国のモデルになり得ます。日本版CCRC構想のコンセプトに基づき、高齢者の健康・継続的ケア・多世代交流などを可能とした機能の集約によるコンパクト地域を指定し、官民連携により赤平版CCRC構想の事業展開を進めます。また、元気な高齢者の移住定住を促進するため、居住環境を整備するとともに、高齢者が持つ優れた技能や技術力、知識・経験を活かし、様々な伝承活動を行います。さらに、こうした事業展開を推進することによって、若者の雇用創出を図ります。

【CCRC: Continuing Care Retirement Community】健康時から介護時まで継続的ケアを提供する米国発祥の高齢者施設の考え方。一定エリア内に高齢者が自立して生活できるうちに入居して、社会活動に参加し、介護が必要になった場合も医療を受けながら暮らし続ける仕組み。

＜具体的な施策＞(◎重点施策)

①多機能集約型の地域づくり

- ◎赤平版CCRC構想の実現 ◎サービス付き高齢者向け住宅整備
- ◎介護サービス施設専門職の養成 ◎介護施設の拡充
- ◎お試し暮らし事業の拡充 ◎民間賃貸住宅家賃助成の拡充
- ◎都市部自治体との高齢者移住連携協定 ◎地域包括ケアシステムの構築

②社会参加と生きがいづくり

- ◎企業等の就労年齢の拡大 ◎高齢者人材バンク ◎高齢者大学の開講

③健康づくりと医療確保

- ◎健康づくり教室開催 ◎地域医療の確保



基本目標 4 恵まれた自然環境と地域資源を活かした個性と魅力あるまちづくり

赤平市の地形は帯状にまちが形成され、南北の山々に囲まれ東西には空知川が流れ、水と緑の自然豊かなまちです。また、かつて国のエネルギーを支えてきた炭鉱遺産は北海道遺産にも選定され、明治産業革命遺産の流れによって、世界遺産登録の可能性を秘めています。こうした地域資源を十分に活かすことで、特色を持った潤いと魅力あるまちを形成します。

まちづくりは市民自身が積極的に知恵を出し、自ら企画や行動することが重要であることから、公共性を持った市民活動に対して支援を行い、市民参加型のまちづくりを実現します。

また、自然景観と調和の取れた中心市街地の街並みを整備するほか、先代が築き上げてきた歴史をしっかりと後世へ継承するとともに、スポーツ・文化・芸術など、多様な趣味趣向に対応できる魅力あるまちづくりを推進します。

＜具体的な施策＞(◎重点施策)

①炭鉱遺産の継承と活用

- ◎炭鉱遺産公園整備 ◎炭鉱遺産の世界遺産登録等の研究

②自然の恵みを魅力に変える

- ◎空知川河畔整備 ◎街並み景観整備 ◎絶景マップ作成

③まちとひとの魅力づくり

- ◎宿泊施設整備 ◎ポケットパーク整備 ◎郷土歴史・文化館整備
- ◎AKABIRAベースによる地元PR ◎まちづくり活動支援
- ◎芸術の森・公園整備 ◎カルチャースクール開設
- ◎赤平映像PR

